

子どもたちの意見①

学校平和講話会（令和4年度全小学校に実施）のあとで出た意見から一部抜粋。

原文ママで、誤字・脱字の修正は行っておりません。

問.あなたにとって、平和とはどんなことですか？

- ・ 戦争がなく、みんなが人にやさしくして楽しい生活をおくれること
- ・ 食べ物もたべれてならいごともできる。
- ・ みんなと仲良くする。ケンカなし
- ・ せんそうがなくてけんかもないこと
- ・ 不公平のない世界。
- ・ 戦争なんてなく、人が苦しむことのない国
- ・ あらそいやけんかがない世界 平等にらせる世界
- ・ だれもが楽しく、悲しいことがなくけんかや戦争がないことや海の動物とかがいる。ごはんとかもちゃんと食べれたり、貧困がない。
- ・ ごはんとか家があって命もあって一人一人仲良く楽しく生きてるっていうかんじです。
- ・ 食べ物がある。戦そうをしない。人をきずつけない。
- ・ 戦争がなく、世界の人だれもが、元気にらせる、ゴミが必ずゴミ箱に入っていること。
- ・ ぼうりよくなしでかいけつすること
- ・ 私にとっての平和は、あらそいがなく、みんなでたすけあい、協力しあい、楽しく生きてすごすのが、平和だと思います。一度きりの人生だいなしにしたくないからです。
- ・ わたしにとって平和は、幸せです。なぜかというと、戦争があると、死んでしまう人がいたり、自分が死んでしまうかくりつが高いからです。この世界が平和なら、私は、それだけで幸せです。
- ・ 愛、優しさ、思いやりが平和にしていくためにだいじかなって思う。
- ・ 平和とは、ふつうに住らせる社会だと思っています。ふつうに住らす。というのは、本当に、ありがたいことだと思っています。
- ・ たがいを分かりあっている。差別がない。争いがいい。全員がずっと幸せではなくていいから、不こうへいや不幸がない。
- ・ 家族みんなでいっしょに飯を食うこと。
- ・ 世界中の人たちが外国人、インディアン、女せい、黒人、などをさ別しないで手をとりにあっているすがた。
- ・ だろぼうや、じけん、あらそいがいいこと。
- ・ 家族みんなが平凡にらせて国同士が争そわない事。
- ・ 家族や友達がすぐそばにいてくれること。（手をつないでにっこりしている絵が描いてあります。上に「いつもいっしょ」と書いてあります）
- ・ 平和とは、争いのなく、一人一人が人をゆるし合い、自分のやったことを考えて、思いやりをみんなが持つこと。

- ・ いつもどうりの日常をおくることが平和だと思う。
- ・ 家族の人たちと笑い合いながらテレビを見るときや、妹とけんかをするときなどはとても小さいことでけんかをしているなど感じるがよくあります。でも、すべて平和だからできることなんだなと思います。
- ・ たのしいとおもえる時かん。ごはんなどたべたりできるじかん。いつものせいかつができるじかん。
- ・ わかりあえる世界 ぜんいんが法律を守る世界
- ・ 戦争のないこと
きれいな空（青空）が見えること
- ・ 大切な人たちと、ご飯を食べて、いっぱい遊んで、くだらないことを話して、みんなでふとんにくるまりねむること。（二人でボールを使って遊んでいる、ふとんにくるまって寝ている、二人でご飯を食べている絵が描かれています。）
- ・ 全員が幸せに暮らし、困っている人がいたら助け合い、ゆずりあうことで、平和になれる。この暮らしが平和といってもかごんではない。
平和…自由にくらし、おいしいご飯がたべられ、家族と一緒にいること。
- ・ 衣食住とすいみん
- ・ せんとうき・ぶきがないミサイルもないせかい
- ・ おなかいっぱいごはんがたべられる
十分なちりょうをうけられる
- ・ 家族や人がなくならない
- ・ 戦争やたたかいがないこと
- ・ みんながしあわせに公平に生きれること。
- ・ 殺し合いのない世界
- ・ むさべつにとおとい命がうばわれない
- ・ ・お米を食べれること ・安心してねむることができる ・どなり声がきこえないところで過ごすこと
- ・ みんなが家族や友人・大切な人と、楽しくくらしることが当たり前になっている世界だと思います。今の日本はそれがあたりまえだから、特別に感じる事が少ないかもしれないけど、世界には自分たちとはちがって家族や友人とはなれて生活している人がたくさんいたりすることを考えると、今のくらしは、とても幸せなものなんだなと思います。
- ・ 誰かが、いがみ合っても、ぼう力につながらない世界になればいいと思います。

子どもたちの意見②

学校平和講話会（令和4年度全小学校に実施）のあとで出た意見から一部抜粋。

原文ママで、誤字・脱字の修正は行っておりません。

問.平和のために、あなたができること（やろうと思うこと）は何ですか？

- ・ 戦争のことなどを他の人に言って「戦争はやりたくない」と思っしてほしい
- ・ 自分の意見ばかり考えないで周の人のことを考える
- ・ さべつしない。他の人とくらべない。
- ・ 戦争なんて昔の話とっていたけど、今、ウクライナとロシアが戦争していて昔、日本も戦争をしていたからもうこれ以上戦争で亡くなる人をださないためにも忘れてはいけないと思う。
- ・ ぼくができることは少ないけど、できるだけ国もしくは町をまもればいいと思う。できたら全世界もそうできたらと思う。
- ・ ぼうげんをはかない、ぼうりょくをしない。
- ・ けんか・暴力をなくす。
小さいことでもつみかさなれば大きい事になる！！
- ・ いじめをしている人がいたらとめてあげたり、だれかをさべつしないこと。
- ・ 金をぬすまない。どろぼうがいたらけいさつにれんらくする。ごみを道にすてない。
- ・ ことばづかいや人のことを考える。 たべものなどいつもたべているものをのこさないようにする。
- ・ 人を助ける 生きてること けんかをしないこと。
- ・ 戦争が始まろうとしてても、戦争に反対する。
コンビニとかでぼきんにきふする。
- ・ せんそうをつくるきっかけをつくらない。
- ・ いじめをしないようにする。人がいやがることをしない。
- ・ きふをしたり、当たり前前の生活とは何かを考えて、調べたことを生かしたい。
- ・ ぼ金をする。（戦争が起きている国に）
- ・ 人々が楽しくすごせるために、いやに気持ちになる「いじめ」をできるだけなくせるようにしたい。友達とたくさん話す。そうすると自然に笑顔になる。
- ・ 戦争のことをしっかり知り、せんきょにいくこと。1人1人の命をたいせつにすること。みんなが、とても大事な人がいることを知っておくこと。
- ・ 困っている人を助ける。学校とかで外国の人とも仲良くなる。
- ・ こまっていたら、たすけてあげる。
- ・ 人を理解する。思いやりをもつ。それがふつうに住らすの第一歩だと思う。人を思いやるだけで争い事はなくなるし、それがふつうの住らしに出来る事。

- ・ コミュニケーションを積極的にとる。たがいの国のよいところ相手のよいところを伝え合う。相手を知る。教える。
- ・ 悪口などいわずになかよくしゃべる。
- ・ ぼ金活動・ひなんした人の手伝いなど。
- ・ だれかがいじめみたいなことをやってたらやめて！と声をかける。
- ・ 戦争がまちがっていることを世界中の人たちみんなに教えたりすること。
- ・ 自分のごみは自分をもってかえるなど。みんながくらしやすいような日本にする。
- ・ 最初に見た小さなことでも後からどんどん大きくなならないように、見つけたときにとめる。
- ・ ぼう力をふるうのは小さなせんそうだ。でぼう力についても自分の中でもみなおしたい。なにをしても、今は、平和にすごしたい。
- ・ ウクライナの人たちに、治料費をわたす。（ぼ金だと、戦車を買うお金などになってしまうため✕）
- ・ みにくい争いをしない、みにくい争いをしても、なにもいいことは、ないまま心にきづをつける
- ・ 困っている人を助ける。→1人が困っていて他の人はびょうどうではなくみんなびょうどうに生きるために助ける。そうするとみんなびょうどうになる。
- ・ すきなことをやる
- ・ できるだけ多くの人にせんそうをやってはいけないとつたえる
- ・ 戦争のことについて知識を広げ自分が大人になったときに自分の子どもに伝えられるようにする。
- ・ 常に自分が笑顔！そしたら周りも自然と笑顔になるからです。（熊の絵が書かれています）
- ・ 動物や人を大切にする。ごはんの食べのこしをしない
- ・ 学校などのいじめはとめる。
- ・ せんそうはんたい！！ツイッターなどで言う
- ・ どうやったら平和になるのか、どうやったらたのしい生活になるのかをせいいっぱい考えて、行動することです！
- ・ 世界が平和になるために、自分が直接的に何かをすることはできないかもしれないけれど、戦争で苦しんでいる人のための募金活動などに参加したりして、少しでも理解を深めることが大切だと思います。また、今戦争をしている国へのかんしんをつづけていくことも大切だと思います。一人一人が平和へのいしきをもつことが世界平和への第一歩だと思います。
- ・ 争いをおこさないように他の国と仲を少しでも深める方法を考えとく
- ・ 人と人の意見がかみあわないことは、よくあるけど、そこから、せんそうにつなげないようにするのが私たちの最ぜんせんだと思います。
- ・ 国がちがうからなどの差別なくみんなで助け合う